



Japan Society for Bioscience,  
Biotechnology, and Agrochemistry

2014.7

# 会告

カレンダー・・・K-1  
お知らせ・・・K-3  
支部だより・・・K-5

## CALENDAR カレンダー

会  
告

期日	講演・会合等名称(会場)、《共催等》、太字=本会関連
<b>2014年(平成26年)</b>	
7/2~4(水~金)	第49回天然物化学談話会(倉敷)《協賛》
7/3~4(木~金)	日本包装学会第23回年次大会(東大)《協賛》
7/4(金)	東日本大震災に係る食料問題フォーラム2014川内村ワークショップ(福島)《後援》
7/5(土)	第26回万有札幌シンポジウム(北大)《協賛》
<b>7/5(土)</b>	<b>日本農芸化学会中部支部第170回例会『環境調和・食と農芸化学』(静岡県大)</b>
7/7~9(月~水)	第51回アイソトープ・放射線研究発表会(東大)《協賛》
7/9(水)	日本農芸化学会創立90周年・第40回化学と生物シンポジウム—「私たちの健康と食品」—(東大)
<b>7/12(土)</b>	<b>日本農芸化学会関西支部例会 第485回講演会・ミニシンポジウム(阪府大)</b>
7/17(木)	第42回日本食品微生物学会学術セミナー(横浜)
7/17~18(木~金)	日本プロテオーム学会2014年会(JHUPO第12回大会)(つくば)《後援》
7/17~18(木~金)	セルロース学会第21回年次大会(鹿児島大)《協賛》
<b>7/19(土)</b>	<b>日本農芸化学会東北支部シンポジウム「植物ホルモン研究の“New Era”—分子レベルでの新展開—」(山形大)</b>
7/19(土)	第4回天然物パワーシンポジウム「海外学術調査と天然物化学」(東大)《協賛》
7/25(金)	生物工学フォーラム「先端技術による新たなバイオテクノロジー」(理研)《協賛》
7/26(土)	日本学術会議公開シンポジウム「昆虫における刺激の受容と反応」(東京)
7/28(月)	千里ライフサイエンスセミナー「上皮極性シグナル制御とその異常による病態」(大阪)
8/3~5(日~火)	第4回高校生バイオサミットin鶴岡(鶴岡)《後援》
8/5~7(火~木)	国際カルノシン・アンセリン学会(星葉大)《後援》
8/7~8(木~金)	日本ゾル-ゲル学会第12回討論会(つくば)《協賛》
8/7~8(木~金)	第28回キチン・キトサンシンポジウム(順天堂大)《協賛》
8/8~9(金~土)	第19回日本病態プロテアーゼ学会学術集会(大阪)
8/10~12(日~火)	第33回日本糖質学会年会(名大)《共催》
8/21~23(木~土)	第8回レドックス・ライフイノベーション第170委員会(宮崎)
8/27(水)	文部科学省創薬等支援技術基盤プラットフォーム公開シンポジウム(東京)《後援》
8/27~28(水~木)	第27回おい・かおり環境学会(文京学院大)《協賛》
8/30(土)	食品酵素化学研究会第14回学術講演会(阪府大)
9/2~6(火~土)	第27回国際ポリフェノール会議2014(名大)《共催》
9/3~5(水~金)	第65回コロイドおよび界面化学討論会(東京理科大)《協賛》
9/4~5(木~金)	第67回日本酸化ストレス学会学術集会(同志社大)
9/4~6(木~土)	第23回日本バイオイメージング学会学術集会「公開講座」並びに「学術講演会」(阪大)《協賛》
9/5~6(金~土)	第12回高付加価値食品開発のためのフォーラム(裾野)《協賛》
9/5~7(金~日)	栄養学若手研究者の集い第48回サマーセミナー(福井)
9/10~12(水~金)	第44回複素環化学討論会(札幌)《共催》
9/11~12(木~金)	第31回シクロデキストリンシンポジウム(島根)《共催》
9/11~12(木~金)	第59回リゲニン討論会(福井工大)《共催》
9/12(金)	第24回イソプレノイド研究会例会(岡山大)《協賛》
9/17(水)	プロテイン・アイランド・松山国際シンポジウム2014(愛媛大)《後援》
9/18~19(木~金)	平成26年度日本農芸化学会西日本支部大会(佐賀)

期 日	講演・会合等名称（会場）、《共催等》，太字＝本会関連
9/19～20（金～土）	2014年度日本農芸化学会関西支部大会（第486回講演会）日本農芸化学会創立90周年・関西支部創立80周年記念大会（奈良、奈良先端大）
9/20～22（土～月）	第58回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会（和歌山大）《共催》
9/22～24（月～水）	平成26年度日本農芸化学会北海道・東北合同支部大会（北大、札幌）
9/24～28（水～日）	12th International Symposium on Cytochrome P450 Biodiversity and Biotechnology（京都）《後援》
9/26～9/27（金～土）	学会創立90周年記念日本農芸化学会2014年度中四国支部大会（第40回講演会）（徳島大）
10/15～17（水～金）	第62回レオロジー討論会（福井）《協賛》
10/15～17（水～金）	2014地球環境保護 土壌・地下水浄化技術展（東京）《協賛》
10/15～17（水～金）	第56回天然有機化合物討論会（高知）《共催》
10/22～24（水～金）	第51回ペプチド討論会（徳島大）《協賛》
10/27（月）	第20回名古屋メダルセミナー（名大）《協賛》
10/28～29（火～水）	The 3rd International Symposium on Chemical Biology of Natural Products:Target ID and Regulation of Bioactivity（大阪）《協賛》
10/31（金）	大豆のはたらきin仙台—食を通して健やかな人生を—（仙台）《後援》
11/4～6（火～木）	第53回NMR討論会（阪大）《共催》
11/6～7（木～金）	第13回食品レオロジー講習会—初心者のための実習と基礎—（仮題）（東大）《協賛》
11/8（土）	日本ラクトフェリン学会第6回学術集会（つくば）
11/8～9（土～日）	第19回日本フードファクター学会（JSoFF 2014）（鹿児島大）
11/13～14（木～金）	第42回構造活性相関シンポジウム（熊本）《後援》
11/14～15（金～土）	第47回酸化反応討論会（崇城大）《共催》
11/22～24（土～月）	第55回高圧討論会（徳島大）《協賛》
11/24～26（月～水）	アジア環境化学国際会議（International Conference of Asian Environmental Chemistry 2014）（タイ）《後援》
11/27～29（木～土）	第41回有機典型元素化学討論会（宇都）《共催》
12/17～19（水～金）	Active Enzyme Molecule 2014（富山）《後援》
2015年（平成27年）	
3/26～29（木～日）	日本農芸化学会2015年度（岡山）大会（岡山、岡山大）

### メールアドレス登録のお願い

本会では、マーリングシステムとWEBによる会員名簿の整備を進めております。このシステムのいっそうの充実を図るため、会員の皆様方にはメールアドレスのご登録をお願いしたいと存じます。

本会庶務係 (shomu@jsbba.or.jp) まで、氏名、登録用メールア

ドレスをお送り下さいますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

会員情報システムを通じて登録、閲覧される情報はSSL暗号化通信によって外部からの盗聴を防いでおります。

# 農芸化学会 からの お知らせ

本会告ページは、「化学と生物」2015年1月から掲載を停止いたします。1月以降の会告につきましては、本会ホームページに掲載いたしますので、そちらをご覧くださいますようお願い申し上げます。

## 2015年度（平成27年度）大会のお知らせ

日本農芸化学会2015年度（平成27年度）大会を下記の予定で開催いたします。

岡山で初めての大会開催です。全国各地から大勢参加ください。

会期：2015年（平成27年）3月26日（木）～29日（日）

会場：

【授賞式／受賞講演／農芸化学「化学と生物」シンポジウム／懇親会】

2015年3月26日（木）

ホテルグランヴィア岡山

（〒700-8515岡山市北区駅元町1番5

<http://gravia-oka.co.jp/access/>

【一般講演・展示会・シンポジウム・ランチョンセミナー・ジュニア農芸化学会等】

2015年3月27日（金）～29日（日）

岡山大学津島キャンパス（〒700-8530 岡山市北区津島中  
[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access\\_4.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/access/access_4.html)

『岡山大学では敷地内禁煙が実施されています。学会参加者の皆様のご理解とご協力よろしくお願ひいたします。』

大会実行委員会：[委員長] 稲垣賢二（岡山大学大学院環境生命科学研究科）[副委員長] 上村一雄（岡山大学大学院環境生命科学研究科）[総務代表] 神崎 浩（岡山大学大学院環境生命科学研究科）

問合せ先：2015年度大会実行委員会

総務代表 神崎 浩 [hkanzaki@okayama-u.ac.jp](mailto:hkanzaki@okayama-u.ac.jp)

## “農芸化学”を基軸とした異分野融合研究と新技術創成 日本農芸化学会2015年度大会シンポジウム課題の募集

日本農芸化学会2015年度大会は2015年（平成27年）3月26日（木）～29日（日）の4日間、岡山大学津島キャンパス（岡山市北区津島中）を主会場として開催されます。大会最終日3月29日（日）に、1課題約3時間の枠でシンポジウムを開催予定です。つきましては、シンポジウム課題を広く会員の皆様から公募しますので、積極的なご応募をお待ちしております。今回のシンポジウムでは、ご提案いただいた課題から20課題程度を採択させていただく予定です。

本大会では、農芸化学領域のパラダイムシフトを目指した異分野融合的な内容や地域活性化をバイオ関連産業から牽引するような内容のシンポジウムを募集いたします。

たとえば、

◎次世代の農芸化学領域を開拓する異分野融合領域研究

- ・農芸化学研究を基軸とした新たな異分野融合研究
- ・オープンイノベーションを目指したグローバル視点からの農芸化学研究

◎地域活性化に資するグローカルな農芸化学研究

- ・地域バイオ産業振興に資する新技術創成への貢献
- ・地域特色を活かしたバイオ産業創成への貢献

などを中心として、農芸化学の広範な分野からの課題応募を期待いたしております。特に、若手会員からの積極的な応募を期待します。

なお、本大会シンポジウムでは、同一シンポジストが複数のシンポジウムで講演することはできません。また、世話人代表者が異なる課題のシンポジウムで講演することもできませんのでご留意ください。シンポジウム課題の採択可否につきましては、シンポジウム委員会で選考し、8月末頃までに課題応募者宛てにてその結果をご連絡いたします。

その他の不明な点は、シンポジウム担当までお問合せください。

### 【シンポジウム課題応募要領】

応募期限：2014年7月31日（木）

応募申請に必要な記載事項：1) 課題（仮題でも可）、2) 世話人の氏名・所属・年齢（2～3名）、3) 企画趣旨と概要（400字程度）、4) 講演者案（氏名・所属・会員と非会員区分）、5) 海外講演者の有無、6) 予想される聴衆人数、7) 希望会場規模〔(1) 100人未満収容の会場〕または〔(2) 100人収容以上の会場〕、8) その他の参考となる事

項、9) 世話人代表者（国内正会員）の氏名と連絡先（郵便番号、所在地、所属、電話番号、ファックス番号、E-mailアドレス）

**応募先 E-mail:**nouka-sympo@okayama-u.ac.jp

※メールの件名を、「農芸化学会シンポジウム応募」として送信ください。折り返し受領通知をお送りします。  
受領通知がない場合は再度送付ください。

**問合せ先：**[シンポジウム担当]

・代表：木村吉伸（岡山大学環境生命科学研究所（農学系））

E-mail:yosh8mar@okayama-u.ac.jp

・副代表

内海俊彦（山口大学大学院医学系研究科（農））

木村幸敬（岡山大学大学院環境生命科学研究所（環））

田辺創一（広島大学大学院生物圈科学研究所）

田村 隆（岡山大学大学院環境生命科学研究所（農））

## 創立90周年記念・農芸化学「化学と生物」シンポジウムについて

創立90周年記念・農芸化学「化学と生物」シンポジウムを下記要領で開催します。

詳細決定次第、学会ホームページ ([http://www.jsbba.or.jp/event/event\\_sympo\\_kasei.html](http://www.jsbba.or.jp/event/event_sympo_kasei.html)) および本誌会告に掲載します。

**タイトル：**私たちの健康と食品

**日 程：**2014年（平成26年）7月9日（水）

**場 所：**東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール、多目的スペース  
(東京都文京区本郷7-3-1、本郷キャンパス赤門付近)

**講 演：**清水 誠（東京大学名誉教授、日本農芸化学会会長）

「機能性食品研究の過去・現在・未来」

伏木 亨（京都大学大学院農学研究科教授）

「おいしさは究極の食品機能」

佐藤隆一郎（東京大学大学院農学生命科学研究所教授）

「食の機能による健康寿命延伸」

**展 示：**農芸化学技術賞受賞企業による企業活動展示

**問合せ先：**公益社団法人日本農芸化学会事務局

Tel. 03-3811-8789

E-mail:90th-kasei40@jsbba.or.jp

## 日本農芸化学会フェロー候補者ご推薦のお願い

この度、本会は日本農芸化学会フェロー制度を新設いたしました。

本制度は、本会における継続的な活動を通じ、農芸化学分野において優れた業績をあげ、社会および本会の発展に顕著な貢献をなした正会員に対し、日本農芸化学会フェローの称号を授与し、その功績を称えるとともに、本会の

更なる発展に貢献していただくことを目的としております。

フェロー制度規程および推薦書は日本農芸化学会ホームページに掲載しております。フェロー候補者のご推薦は、所定の用紙を用い、本人のご同意を得たうえで7月31日までにお願いたします。

## 本会推薦による賞・助成金情報

現在、本会では下記の賞・助成金の本会推薦候補者を募集しています。適任者がおられましたら奮ってご応募ください。本会授賞選考委員会で選考し、推薦いたします。

賞・助成の詳細につきましては、当募集団体ホームページをご覧ください。

また、本会ホームページの賞・助成金情報 (<http://www.jsbba.or.jp/info/grant/>) もご覧ください。

### 【賞】

- 平成26年度（第13回）日本農学進歩賞（7/10締切）
- 第6回とうきゅう環境財団社会貢献学術賞（7/31締切）
- 第41回岩谷直治記念賞（7/31締切）
- 第31回井上学術賞（8/20締切）
- 平成26年度島津賞（8/29締切）
- 第4回三島海雲学術賞（8/29締切）
- 第23回木原記念財団学術賞（8/29締切）
- 第46回内藤記念学術振興賞（9/1締切）

### 【助成】

- 第42回内藤記念講演助成金（7/18締切）
- 第46回内藤海外学者招聘助成金（9/1締切）
- 《問合せ・応募先》〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16学会センタービル内  
日本農芸化学会事務局授賞係  
Tel. 03-3811-8789 Fax. 03-3815-1920  
E-mail:shomu@jsbba.or.jp

## 第64回国際会議出席費補助金交付候補者募集要項

**対 象：**海外で開かれる農芸化学諸分野の国際会議出席希望者。ただし、2014年10月1日から2015年3月31日までに開かれる国際会議で発表を予定している方。

**補助金の金額：**1件20万円以内、4件程度（総額80万円）

**応募方法：**所定の申請書に必要事項を記入

のうえ、当財団宛てに郵便にてご送付ください。

※申請には必ず会議での発表予定論文の要旨および招請状を添付してください（要旨は英文、和文いずれも可。コピー可）。用紙はA4判を用いること。

**応募の締切：**2014年7月31日（木）当日消

印有効

**補助金の交付：**2014年9月

**応募先・申請書請求先：**〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル 公益財團法人農芸化学研究奨励会事務局 Tel. 03-3811-8789, Fax. 03-3815-1920 E-mail:acrif\_info@jsbba.or.jp

## 小学校・中学校・高等学校への出前授業募集

このたび、本会広報委員会では、小学校・中学校・高等学校への出前授業を開始いたします。学校関係者の皆さま、たくさんのご応募をお待ち申し上げます。

**趣 旨：**日本農芸化学会の会員（科学者や知識人など）が、講師として小・中・高等学校へ出向き、農芸化学（動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、食品と健康などを化学的な考え方に基づき研究する学問）にかかる授業を、最先端の研究内容の紹介などを含め

ながら、講義・実験・演習を通して有意義に学びます。

**授業対象：**小学生・中学生・高校生、教員の団体ほか

**付帯事項：**講師派遣料は本会負担（ただし必要な備品などはご準備いただきます）

**授業時間：**1~2コマ授業（1コマ45分）

**授業形態：**クラス単位（複数クラス可）

**対象地区：**日本全国（北海道、東北、関東、中部、近畿、中国四国、九州地区）

**申込方法：**申請書を郵送またはメール添付

(PDF)にてお申込みください。申請書受付後、本会で調整し、派遣講師と授業内容をお知らせします。

**申請書請求・問合せ先：**日本農芸化学会事務局広報係 東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2階

Tel. 03-3811-8789

E-mail:soumu@jsbba.or.jp

**その他：**申込多数の場合は個別に相談のうえ、適宜実施させていただきます。

## 会費の領収書について

会費の領収書は本会ホームページの会員Mypage (<https://jsbba.bioweb.ne.jp/mypage/>) からダウンロードできます。領

収書がご入用の方は、上記ページにログインし、ご自身の会費領収書をダウンロードしてくださいようお願いいたします。

**問合せ先：**日本農芸化学会事務局会員係

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル2F

Tel. 03-5803-9561

E-mail:kaiin@jsbba.or.jp

## ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 新入会・登録情報変更などのURLについて

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
新規入会、登録情報確認・変更のURLは下記のとおりです。

登録情報を確認、変更される場合、会員ID（会員番号）とパスワードが必要です。

ご登録いただきました会員データに基づき学会誌の発送、会費・購読料の請求を

行っておりますが、登録データは外部に漏れることがないよう十分注意を払っております。

会員登録の変更につきましては、Web上では変更できない個所も定めておりますので、E-mailまたはFaxでも受け付けております。

この際、登録内容をご確認いただき、E-mailなどご登録いただいたいよいよでしたら是非ご登録下さいようご協力く

ださい。

[日本農芸化学会ホームページURL]

<http://www.jsbba.or.jp/>

なお、パスワードを紛失された場合は「パスワード再発行」を行ってください。取得されたパスワードを独自のパスワードに変更する場合は「パスワードの変更」で手続きすることができます。

**《事務局会員係》** Tel. 03-5803-9561, Fax. 03-5803-9562, E-mail:kaiin@jsbba.or.jp

Tel. 054-264-5540

E-mail:kawarsky@u-shizuoka-ken.ac.jp

## 日本農芸化学会関西支部例会 第485回講演会・ミニシンポジウム

**日時：**2014年7月12日（土）13:00～

**会場：**大阪府立大学学術交流会館（大阪府堺市中区学園町1-1）

**プログラム：**【ミニシンポジウム】「細胞・生物情報ネットワークを紐とく」接合菌の内生細菌におけるクオラムセンシング（甲斐建次、大阪府大院・生命環境）、疫病菌交配ホルモンの生物有機化学（矢島 新、東京農大・応生科）、ROSによる植物の根の成長を制御する細胞機能転換転写ネットワーク（塚越啓央、名大・高等研究院兼生命農学）【日本農学賞受賞講演】環境保全



## 第51回化学関連支部合同 日本農芸化学会中部支部 第170回例会「環境調和・ 食と農芸化学」

**日時：**2014年7月5日（土）13:00～

**会場：**静岡県立大学 看護学部棟13411講義室

**プログラム：**○農芸化学奨励賞受賞講演：石井剛志（静岡県大・食品栄養科学部）「食品および酸化ストレス関連因子による生体タンパク質の翻訳後修飾に関する研究」、柴田貴広（名大院・生命農学研究科）「脂質

メディエーターに関する化学生物学的研究」、吉村和也（中部大・応用生物学部）「植物 Nudix hydrolase ファミリーの生理機能に関する研究」 ○シンポジウム『環境調和・食と農芸化学』：稻垣栄洋（静大農・フィールド科学教育研究センター）

「地域の生態系機能を活用した農業生産」、横山真弓（兵庫県大・自然・環境科学研究所）「ニホンジカ管理と持続的食資源としてのシカ肉活用をつなぐ最前線」、若林敬二（静岡県大・食品環境研究センター）「がんの発生と抑制に影響を及ぼす食事性因子」 ○懇親会 詳細は支部ホームページ (<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~jsbba/>) にて

**問合せ：**河原崎泰昌（静岡県大・食品栄養科学部）

型の高選択的生物制御物質に関する先駆的研究（林 英雄，大阪府大名誉教授）

#### 【一般講演】

参加費：無料

懇親会：一般講演終了後

問合せ先：大阪府立大学大学院生命環境科学研究所

山地亮一（Tel. 072-254-9453）

E-mail: yamaji@biochem.osakafu-u.ac.jp

詳細は <http://www.kansai-jsbba.jp> をご覧ください。

### 日本農芸化学会東北支部 シンポジウム 「植物ホルモン研究の“New Era” —分子レベルでの新展開—」

日時：2014年7月19日（土）

場所：山形大学農学部301講義室

世話人：三橋 渉（山形大学農学部）

連絡先：〒997-8555 山形県鶴岡市若葉町1-23

Tel. 0235-28-2868

E-mail: wmitsu@tds1.tr.yamagata-u.ac.jp

詳細は、決定次第支部ホームページ上でご案内いたします。

### 平成26年度日本農芸化学会 西日本支部大会

期日：2014年9月18日（木）～19日（金）

会場：HOTEL グランデはがくれ（シンポジウム・特別講演・懇親会）

佐賀大学農学部（一般講演）

実行委員長：神田康三（佐賀大学農学部）

シンポジウム：「ファージ研究の新展開」

松崎茂展（高知大学医学部）「バクテリオファージ療法の現状と可能性」，大塚裕一（獨協医科大学）「ファージ療法・もう一つのチャレンジ」，土居克実（九州大学大学院農学研究院）「極限環境ファージの特性—ゲノム構造から展開する生命進化と産業応用—」

特別講演：村田 晃（佐賀大学農学部名誉教授）「有用嫌気性細菌におけるファージ研究のあゆみ」

一般講演：演題申込締切：2014年7月11日（金），講演要旨締切：2014年8月8日（金）

詳細は支部ホームページ (<http://www.kyushu-u.ac.jp/jsbba-west/>) をご覧ください。

問合せ先：九州大学大学院農学研究院（角田佳充） Tel. & Fax. 092-642-2854

### 2014年度日本農芸化学会関西支部 大会（第486回講演会）

#### 日本農芸化学会創立90周年・関 西支部創立80周年記念大会

日時：2014年9月19日（金）13:00～18:30,  
9月20日（土）9:30～17:30

場所：第1日目 東大寺総合文化センター  
金鐘ホール（奈良市水門町100），第2日目  
奈良先端科学技術大学院大学（生駒市高山  
町8916-5）

プログラム：第1日目・シンポジウム「食  
と生命を科学して80周年～そして未来へ」  
(13:00～18:30)「祝賀挨拶」（清水 誠，  
日本農芸化学会会長），「健康を守るトラン  
スポーターABC蛋白質」（植田和光，京都  
大学・iCeMS・農学研究科），「肥満・エネ  
ルギー代謝と食品機能」（河田照雄，京都  
大学・農学研究科），「ビッグデータバイオロ  
ジーとしての生態学と医食同源の体系化」  
(金谷重彦，奈良先端科学技術大学院大学・  
情報科学研究科)，「ポリフェノールサイエン  
スへの挑戦と創造」（辻村英雄，サント  
リーホールディングス），「酒は百薬の長」  
を実証する 清酒およびその副産物の機能  
性」（秦 洋二，月桂冠），特別講演「食品  
機能研究30年の回顧と展望—その光と闇」  
(吉川正明，京都大学名誉教授・生産開発  
科学研究所)，2014年度日本農芸化学会賞  
受賞特別講演「酸化還元酵素・電極共役系  
を基盤とした生物電気化学研究の展開」  
(加納健司，京都大学・農学研究科)，「支  
部長挨拶」（内海龍太郎，関西支部長）・懇  
親会（奈良国立博物館地下レストラン19:00  
～20:30）

第2日目・一般講演，2014年度日本農芸化  
学会功績賞受賞特別講演「食品製造におけ  
る速度過程が関与する現象の工学的解析」  
(安達修二，京都大学・農学研究科)，「植物  
機能高度活用のための分子基盤開発」（横  
田明穂，奈良先端科学技術大学院大学・バ  
イオサイエンス研究科）

参加・講演申込方法：詳細は <http://www.kansai-jsbba.jp> をご覧ください。

参加費：無料

懇親会費：事前参加申込 一般3,000円，  
学生無料，当日申込 一般5,000円，学生  
1,000円

講演申込締切：2014年8月11日（月）

講演要旨締切：2014年8月18日（月）

事前参加申込締切：2014年8月31日（日）

連絡先：奈良先端科学技術大学院大学バイ  
オサイエンス研究科 高木博史（Tel. 0743-  
72-5420, E-mail: jsbba-kansai@bs.naist.jp）

### 平成26年度 日本農芸化学会北海道・東北 合同支部大会

日時：2014年9月22日（月）13:30～9月  
23日（火・祝）15:00頃まで

場所：北海道大学農学部大講堂ほか

特別講演：9月22日（月）13:30～15:00  
宮澤陽夫教授（東北大院農）「分析化学を基

盤とした食品機能性研究の先導的展開」，  
横田 篤教授（北大院農）「有用物質生産菌  
の中核代謝強化に関する基盤研究」

特別シンポジウム：「先端技術で探る生命  
現象」代表世話人 高橋公咲（北大院農）

9月22日（月）15:00～17:00

講演者：菅 敏幸教授（静岡県立大薬），川  
上 勝准教授（山形大工），小松節子上席研  
究員（農研機構 作物研究所），篠原康郎特  
任教授（北大院先端生命）

9月23日（火・祝）一般講演 9:30～12:00,  
13:30～15:00頃

ポストシンポジウム：「若手の会」

9月23日（火）16:00頃～9月24日（水）行  
き先：定山渓温泉ビューホテル  
参加費は一般10,000円，学生5,000円の予定  
です。一般講演演題募集，若手の会の詳細は  
ホームページ上 (<http://www.agr.hokudai.ac.jp/jsbba/>) でお知らせいたします。

連絡先：農芸化学会北海道支部 支部庶務  
幹事 和田 大

〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

Tel. 011-706-4185, Fax. 011-706-4961

E-mail: JSBBA\_Hokkaido@agr.hokudai.ac.jp

### 学会創立90周年記念 日本農芸化学会2014年度中四国 支部大会（第40回講演会）

開催日：2014年9月26日（金）～9月27日  
(土)

会場：徳島大学常三島キャンパス（〒770-  
8506 徳島県徳島市南常三島町2-1, JR徳島  
駅から徒歩15分）

プログラム：シンポジウム『食と健康』（日  
本動物細胞工学会と共に）

シンポジスト：磯田博子（筑波大・北アフ  
リカ研究センター），片倉喜範（九州大・  
農），寺尾純二（徳島大・HBS研究部），特  
別講演：清水 誠（東京農大・応用生物科学  
部）

参加費：無料

懇親会：阿波観光ホテル，会費8,000円（予  
定）

講演申込締切：2014年7月25日（金）

講演要旨締切：2014年8月1日（金）

講演申込、講演要旨提出先専用アドレス：  
[jsbba2@net-s.ne.jp](mailto:jsbba2@net-s.ne.jp)

懇親会申込：[nouka2014@bio.tokushima-u.ac.jp](mailto:nouka2014@bio.tokushima-u.ac.jp)

世話人・問合せ先：徳島大学大学院ソシオ  
テクノサイエンス研究部 大政健史

Tel. 088-656-7408 Fax. 088-656-9148

E-mail:[nouka-tokushima@tokushima-u.ac.jp](mailto:nouka-tokushima@tokushima-u.ac.jp)

なお詳細は支部ホームページ (<http://jsbba-cs.jp/>) をご覧ください。